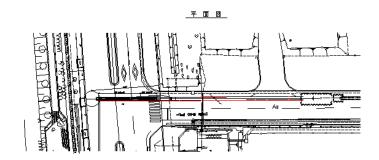
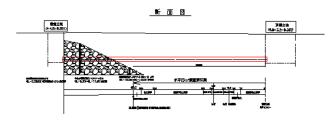
▲実績2(三重県四日市市)伊勢湾横断ガスパイ プライン設置工事 施工概要





呼び径: φ 1000mm 推進延長:68.47m

捨石、砂質土

N値:50 礫率80%

最大礫径:1000mm 地下水位:GL-2.80m 土被り:平均 6.9m

地中障害物:旧護岸石積(巨礫)ワイヤーカゴ、

テトラポット

(発進~30m区間)

工期:昼間施工(8h)2ヶ月(2012.12.2~2013.1.25)



φ 1000mm ミリングモール掘進機

発進後すぐに石積(巨礫)ワイヤーカゴ、テトラポ

ット区間約 20mを掘削後、残り 38mを通常推進しました。



発進立坑掘削時に出土した旧護岸石積(巨礫) 巨礫径(1300mm×900mm×900mm)



捨石状況(15リング目)



Con支障物状況(15リング目)



Con支障物状況(15リング目)



_ コンクリート取壊(15リング目)

発進立坑掘削時に出土したテトラポット

この現場は、旧護岸石積(巨礫)の出土にくわえ事前の磁気探査の結果、何らかの金属反応があるため、ミリングモール工法の採用となりました。 発進立坑掘削時の石積群やテトラポット等の出

発進立坑掘削時の石積群やテトラポット等の出土は φ 1000mm の呼び径に対し、非常に大きく切削困難なものでした。

推進管もミリング専用のローリング防止機能付き 合成鋼管を使用しました。

施工中には巨礫の破砕片とワイヤーが出土し、 金属反応はこのワイヤーであり、ワイヤーカゴに 入った巨礫であったのではと思われた。



推進中に排出したワイヤー片